

平成29年度 事業計画書及び収支予算書

平成29年(2017年)4月1日から
平成30年(2018年)3月31日まで

一般財団法人 下松市笠戸島開発センター

目 次

平成29年度一般財団法人下松市笠戸島開発センター 事業計画書及び収支予算書

一般法人下松市笠戸島開発センター事業計画書(案)	・ ・	P. 1
一般財団法人下松市笠戸島開発センター収支予算書(案)		P. 6
一般財団法人下松市笠戸島開発センター 収支予算書内訳表(案)	・ ・ ・ ・ ・	P. 8
資金調達及び設備投資の見込みについて	・ ・ ・ ・ ・	P. 10

平成29年度 事業計画書

平成29年（2017年）4月 1日から
平成30年（2018年）3月31日まで

平成29年度一般財団法人下松市笠戸島開発センター 事業計画書(案)

1. 平成29年度基本方針

本年度は、「国民宿舎大城」が昨年11月にグランドオープンして、初めての通年営業の年にあたり、当財団の力が問われる年となることから、住民福祉の向上及び観光事業において、更なる笠戸島や本市の活性化に寄与してまいります。

国民宿舎事業につきましては、様々なお客様の御意見を伺いながら、人材育成や料理研究に努め、日本一の国民宿舎を目指してまいります。

また、笠戸島家族旅行村につきましては、引き続き村内の適正な管理運営に努めるとともに、はなぐり海水浴場の運営と併せながら、自然豊かな笠戸島の滞在型観光客獲得に努めてまいります。

当財団といたしましては、下松市の指定管理者としての自覚をより一層持ち、地元の方々との交流を図りながら、笠戸島に無くてはならない、市民の皆様から愛される財団を目指し、健全な運営に努めてまいります。

2. 観光客等受け入れに関する事業

本市の観光振興を図り交流人口の増大に寄与するため、笠戸島や本市に足を運んで下さるお客様に対し、親切丁寧で真心のこもった接客を行ってまいります。

(1) 財団財産管理運営

一般財団法人として、適切な財団運営に必要な、正確で迅速な事務、財産管理、顧客管理等に取り組み、各事業の活動基盤の確保に努めてまいります。

(2) はなぐり海水浴場管理運営事業

- ① 例年同様、開設時に救急救命の指導を受け、常に遊泳者や海の状況を監視するとともに、天候や遊泳区域の危険箇所、危険生物の注意喚起等に気を配り、利用者の安全第一に努めます。

- ② 利用者に快適に過ごして頂くため、管理区域内のゴミ拾いやトイレの清掃等の環境美化に努めます。

(3) 国民宿舎事業

- ① 日本一の国民宿舎
 - ・日本一お客様に愛される国民宿舎を目指します。
- ② 地元第一の国民宿舎
 - ・地元の方々が気軽に足を運んで頂け、非日常を味わえる癒しの施設としての国民宿舎を目指します。
- ③ 地域経済発展の国民宿舎
 - ・地域企業や地域団体との関係を重視し、本市の経済活動に寄与できる国民宿舎を目指します。

(4) 笠戸島家族旅行村管理運営事業

- ① 施設等維持管理業務
 - ・キャンプ場等の施設及び設備の機能と周辺環境を良好に維持し、利用者が常に安全で快適に利用できるように、施設及び設備の日常点検を行います。
 - ・良好な衛生環境、美観の維持を心掛け、公共施設としての快適な空間を保つ為に必要な環境整備を実施します。
- ② サービス棟・売店業務
 - ・サービス棟では季節に応じた軽食提供やバーベキューガーデンの食材提供、管理棟では、地元特産品を中心とした商品の販売を行います。

(5) 観光案内業務及び観光情報コーナー管理業務

- ・本市や周辺地域の観光情報を提供し、観光客の動向や要望等を関係者と情報交換し、周辺地域と連携した観光地域づくりに努めます。

3. 誘致宣伝と交流の場の提供事業

観光客等が、本市へ訪れるきっかけ作りのため、各種イベントの開催や交流の場の提供、その他各種イベントへの協力に努めます。

- (1) 大城温泉花火大会
- (2) 笠戸島まつり

- (3) 夏休み親子陶芸教室
- (4) 笠戸島マリニイカダレース大会
- (5) まるごと笠戸島 i n ハイツ
- (6) 河津桜まつり
- (7) 笠戸島アイランドトレイル
- (8) 宝の島っ子卒業イベント
- (9) その他集客増に必要な誘致宣伝活動

4. 人材育成事業

日本一の国民宿舎を目指すために、財団職員としての更なる主体性、自律性を持たせ、個々の一般的な能力向上や能力開発を図るとともに、組織人としての規律維持に努めます。

- (1) 管理職・中堅・新人職員研修への参加
- (2) 外部講師を招いての内部研修
- (3) 外部研修への参加
- (4) 外部施設での現場研修
- (5) 内部での全職員研修
- (6) 定期的な会議の実施

5. 法人の目的を達成するために必要な事業

当財団の目的である、「労働の疲労を回復させ健全なレクリエーションの場を提供し、地域住民の福祉の向上と健康の増進を図るとともに、下松市の観光振興を図り交流人口の増大に寄与し、地域の活性化及び地域社会の健全な発展に寄与する」ために、以下の事項を基本として実施します。

(1) 集客

- ① 大城温泉のPR事業
- ② 足湯のPRと活用事業
- ③ Web予約及びネットエージェントを使った拡販活動及びPR事業
- ④ スマートフォンに対応したホームページの充実、SNSの利用等、情報化時代に対応した営業活動事業
- ⑤ 下松市観光協会、下松商工会議所、下松旅館組合、下松飲食業協同組合、くだまつ観光・産業交流センター等の関係団体

と連携した情報発信事業

- ⑥ 職員一人一人が財団の顔であり、職員に会いに来られるお客様の獲得に努め、リピーター数の増大を図る事業
- ⑦ お客様にタイムリーな情報発信を提供するため、マスコミを活用した事業

(2) 接客・接遇

- ① お客様に「満足」から「感動」してもらえよう努めます。
- ② お客様に接客を通じ、居心地が良く、快適な癒しの空間を提供し続けることに努めます。
- ③ お客様との会話を心掛け、様々なお問合せに対応するため、知識や情報を収集し、接客に活かすよう努めます。

(3) 料理

- ① 時代のニーズや老若男女に合わせた、四季折々の料理を提供いたします。
- ② 品質・価格を追及し、誰でも利用し易い、良質で安価な料理の提供に努めます。
- ③ お客様にとって、一期一会のお集まりを大切にし、料理や会場の演出をし、心に残る空間の演出に努めます。
- ④ 地産地消をコンセプトに、食の安全・安心に万全を期し、お客様の信頼を得られる料理の提供に努めます。

(4) 収益性及び原価の改善

- ① 聖域無き経費の見直しを行い続け、終わり無き経費削減に努めます。
- ② 市場調査や同業者等との情報交換を密にし、原価の改善に努めます。
- ③ 在庫管理・品質管理を徹底し、廃棄処理や過剰在庫を持たないように原材料の適正化に努めます。
- ④ 売店商品の開拓・販売促進や陳列の工夫に努め、お客様のニーズに対応した商品回転率の良い店舗作りに努めます。

(5) 防災、安全衛生対策

- ① 笠戸島の防災拠点の責務を果たすため、職員に対する防災教育訓練と備蓄品の管理を行い、お客様や地域住民の安全

確保と迅速な対応に努めます。

- ② 定期的な点検・巡視を実施し、5 S（整理・整頓・清潔・清掃・躰）の徹底と、危険箇所の早期発見に努め、迅速に対応いたします。
- ③ 消防署の協力により各種訓練を実施し、災害の防止に努めるとともに、お客様の安全確保と迅速な対応に努めます。
- ④ 専門業者による害虫駆除及び衛生点検マニュアルを活用し、食中毒の防止に努めるとともに、食品衛生の研修に力を入れ、知識の習得に努めます。
- ⑤ 大城の浴槽、家族旅行村の足湯浴槽における洗浄・殺菌等を徹底し、レジオネラ菌発生防止に万全を期します。
- ⑥ 職員への健康管理の情報提供を行い、労働損失を防ぐよう努めます。

（6）施設等の改善

保守点検を始め、お客様からの声と職員の目による、タイムリーな修繕・更新に努めます。

（7）その他

チェックリストを活用し、「ミス・ムダ・クレーム等」の防止に努め、「ヒト・モノ・カネ・ジカン等」のロスを無くすよう努めます。